

## こども教育宝仙大学 研究室だより 第9回

### 「保育系・文系向けIoT教育の開発」

スマートフォンに代表されるように、現在の暮らしにおいてコンピュータは手放せないものとなっています。また、これらのコンピュータはネットワークによって結ばれ、様々な場所から多くの情報をやり取りできるようになっています。

このような情報基盤の上に Internet of Things(IoT) モノのインターネットが構築され、世の中を変革させる兆しが見えています。さまざまな場所やモノに取り付けられたセンサーが多くの情報をネットワークを通して集め、高度な情報処理によって判断します。また、その結果を用いて、自動的に様々な機器を動かすことで多くの価値が生み出されることが期待されます。

しかしながら、どのような情報を集め、判断を行うか、どういうふうな機器の操作を行うかということについては、それぞれの分野の専門家がIoTについての理解を深めてゆく必要があります、かつその分野の能力を高めていくことが重要と考えます。本学学生の専攻する保育系においても同様であると考えています。

理数系でない学生が興味を持ってIoTとその周辺の技術に対して一定の理解を持つことができるよう、またそれを機会に自らの専門である保育への学びを深められるような教育方法を開発しながら、それを本学学生に適用し様々な情報処理に関することを学んでもらえればと考え、教育・研究活動を行っています。

(石原正仁 研究分野：情報処理教育, IoT教育法)

